

フロイント産業株式会社
STANDARD
TOKYO
(証券コード 6312)

2023年2月期 決算説明資料

2023年5月17日

 **FREUND**

目次

- 2023年2月期 連結決算概況 . . . P.02
 - 第8次中期経営計画の振り返り . . . P.16
 - 2024年2月期 連結業績・配当予想 . . . P.20
-
- <参考資料> . . . P.24

2023年2月期
連結決算概況



連結決算サマリー

売上高

前年比増収、機械部門では海外子会社が為替の円安要因も加わり大きく増収したことに加え、化成品部門は医薬品添加剤、品質保持剤ともに好調を維持

利益

- 米国を中心に機械部門の部材調達長期化、出荷遅延の他、原材料価格高騰から減益
- 特別損失として、Cos.Mec.S.r.l.にかかわるのれん等について減損損失約9億円を計上

(単位：百万円)	2022/2月期 実績	2023/2月期			前年比増減		期初 予想比
		期初予想 (22/4/13付)	修正予想 (23/1/12付)	実績		%	
売上高	17,632	18,500	19,500	19,658	2,026	11.5%	1,158
営業利益	981	700	150	451	△530	△54.0%	△249
経常利益	1,032	720	200	559	△473	△45.9%	△161
親会社株主に帰属 する当期純利益	543	450	100	△538	△1,081	—	△988
一株純利益（円）	32.46	26.87	5.97	△32.15	△65	—	△59
ROA	2.5%	—	—	△2.4%	△4.9%	—	—
ROE	3.9%	—	—	△3.8%	△7.7%	—	—

機械部門：概況

売上高

- 国内では部材調達長期化等の影響による出荷遅延が響き苦戦
- 海外では米国子会社を中心に前年を上回り、また円安要因により、国内落込分をカバー

営業利益

米国子会社では以下の状況が変わらず赤字を余儀なくされた結果、大幅減益

- 米国内の労働需給逼迫やサプライチェーンの混乱による部材調達長期化継続
- 急激なインフレによる原材料価格高騰の煽りを大きく受け、利益率低下

受注・受注残高

- 国内ジェネリックメーカーの大型設備投資活発化を背景に受注は好調に推移
- 受注残高は期中に過去最高実績を記録、依然高水準を維持

(単位：百万円)	2022/2月期	2023/2月期	前年比増減	
				%
売上高	11,836	13,448	1,612	13.6%
営業利益	623	59	△563	△90.5%
受注高	15,621	14,630	△990	△6.3%
受注残高	10,574	12,826	2,252	21.3%

機械部門：グループ会社別動向（売上・営業利益）

単体	半導体をはじめとした部材調達及び出荷までのリードタイムが長期化し、大きく減収、また原材料価格高騰の影響により利益率は低下、減益
フロイント・ターボ	売上は前年比増収ながら、利益率の高い製品の売上が伸びず、また期ズレ案件発生により減益
Freund-Vector	円安要因も加わり大幅増収となるも、労働需給逼迫や部材調達長期化が継続、インフレ進行による原材料高騰に伴い採算悪化、大幅赤字計上
Cos.Mec	新興国向案件を確実にクローズし、売上は過去最高を記録、黒字転換

(単位：百万円) グループ会社別は連結調整前	2022/2月期	2023/2月期	前年比増減	
				%
売上高	11,836	13,448	1,612	13.6%
単体	6,865	5,634	△1,231	△17.9%
フロイント・ターボ	1,529	1,600	70	4.6%
Freund-Vector	3,135	5,348	2,210	70.5%
Cos.Mec	937	1,714	775	82.7%
営業利益	623	59	△563	△90.5%
単体	840	421	△418	△49.8%
フロイント・ターボ	83	50	△33	△39.9%
Freund-Vector	△50	△410	△360	—
Cos.Mec	△162	95	258	—

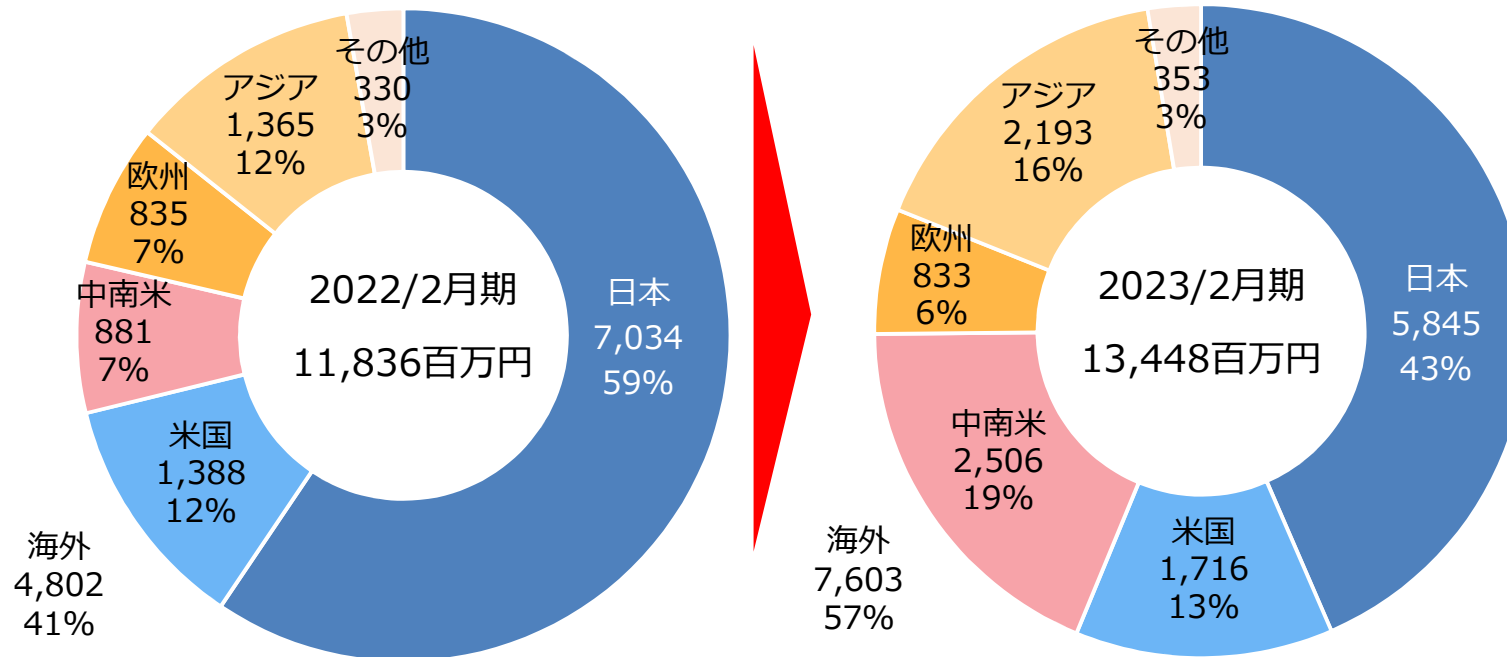
機械部門：グループ会社別動向（受注高・受注残高）

単体	受注高は、国内ジェネリックメーカーの大型設備投資活発化を背景に前年を上回り、受注残高も高い水準を維持
フロイント・ターボ	電子部品不足による長納期を見越したお客さまからの先行発注も加わり、受注残高は前年実績を上回る水準
Freund – Vector	前年度受注残は過去最高であった中、売上進捗と受注コントロールにより減少
Cos.Mec	過去最高実績の前年を下回るものの、アジア、アフリカの大口案件有

(単位：百万円) グループ会社別は連結調整前	2022/2月期	2023/2月期	前年比増減	
				%
受注高	15,621	14,630	△990	△6.3%
単体	7,416	8,157	740	10.0%
フロイント・ターボ	1,366	1,517	150	11.1%
Freund-Vector	5,588	3,645	△1,943	△34.8%
Cos.Mec	1,447	1,310	△136	△9.5%
受注残高	10,574	12,826	2,252	21.3%
単体	5,212	7,835	2,622	50.3%
フロイント・ターボ	620	839	219	35.3%
Freund-Vector	3,710	3,173	△536	－
Cos.Mec	1,183	977	△206	－

機械部門：地域別売上高

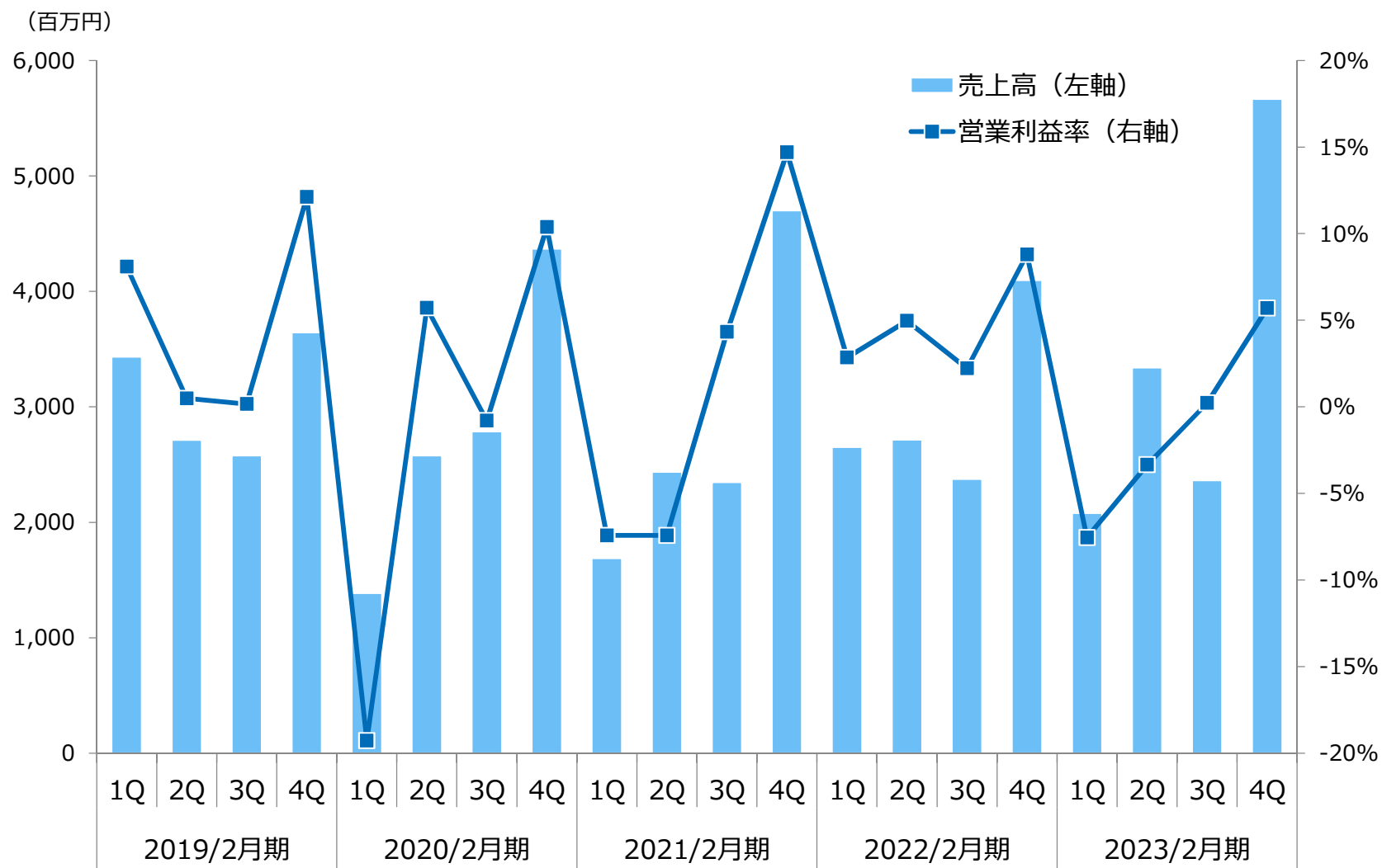
国内	部材調達および出荷までのリードタイムが長期化している影響を大きく受け、前年比では大きく減少
海外	Freund – Vectorでは主に中南米、アジアが牽引、Cos.Mecでは中南米、アジアでの大口案件が寄与、円安要因も加わり円貨換算額は増加



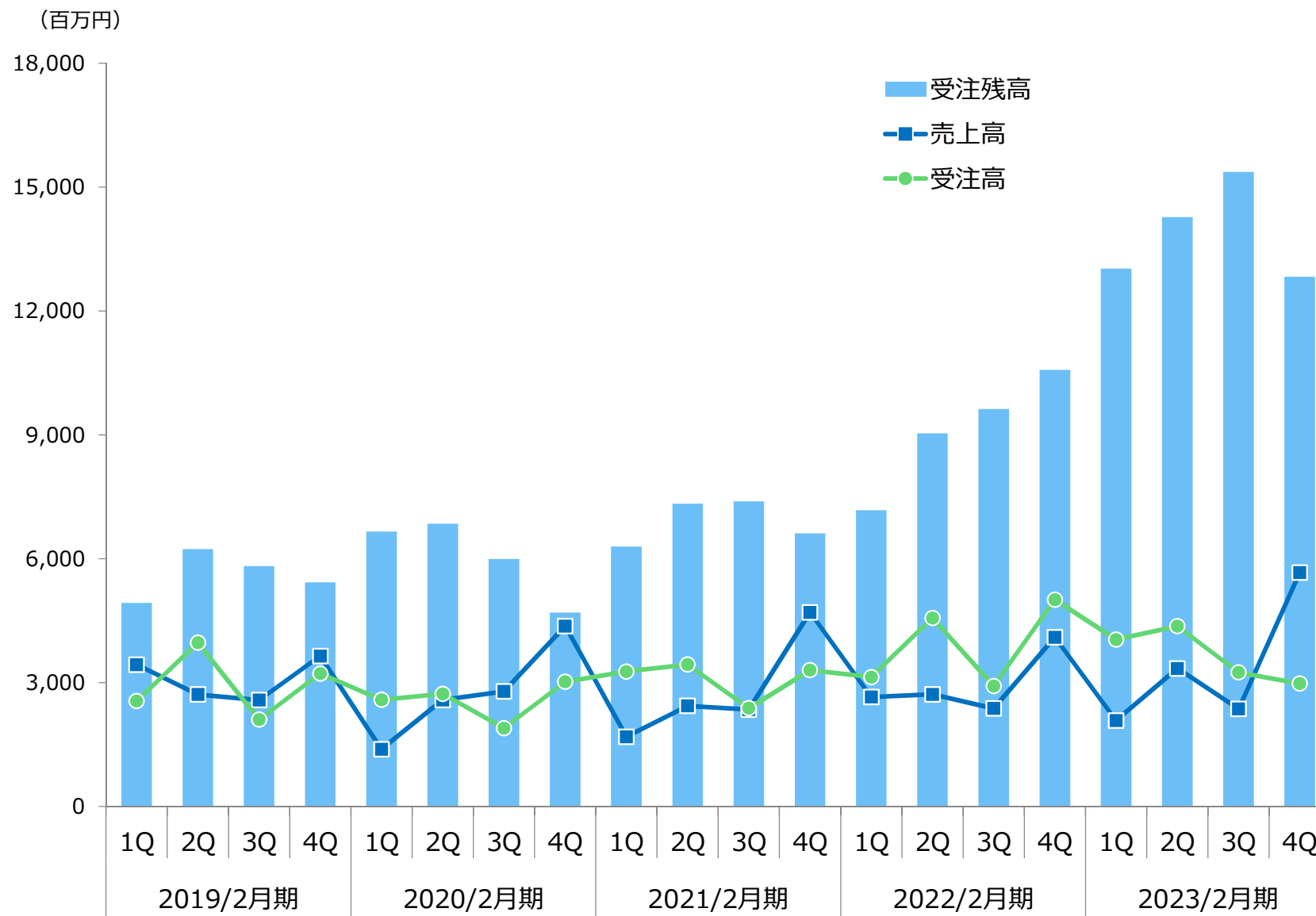
機械部門：四半期推移

【売上高】

【営業利益率】



機械部門：四半期推移（売上高・受注高・受注残高）



化成品部門：概況

売上高

医薬品添加剤：国内、海外向けとも好調に推移、昨年の過去最高実績を更新

食品品質保持剤：お菓子やネット通販のパン向けの需要増加により好調を維持、
添加剤同様、過去最高の売上高となった前年を上回る着地

健康食品：大口ユーザーからの受託終了の影響により売上規模は縮小

営業利益

原材料価格上昇の影響があったものの、増収効果に加え、稼働率向上を通じ利益率改善を図ることにより増益

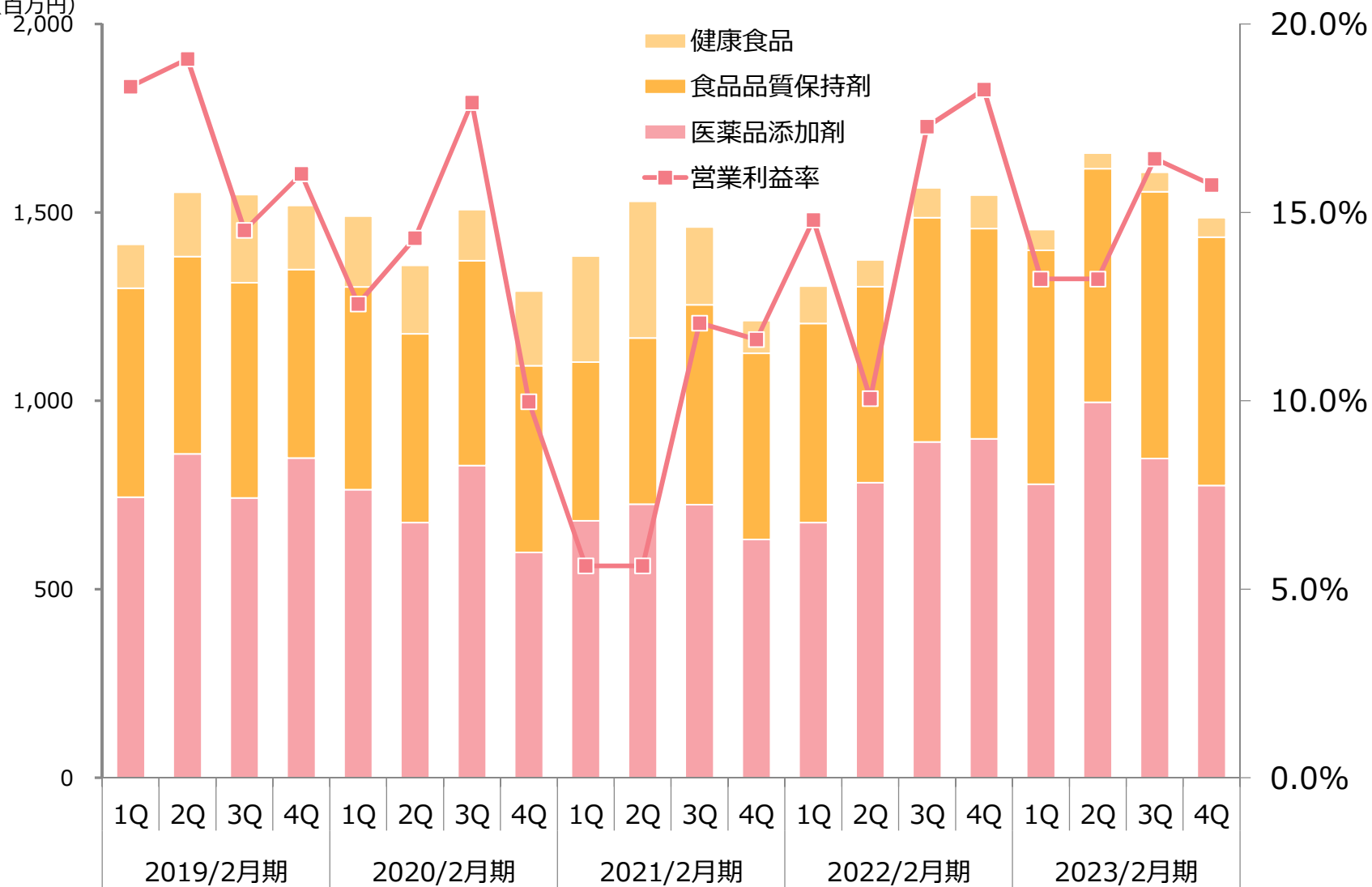
(単位：百万円)	2022/2月期	2023/2月期	前年比増減	
				%
売上高	5,795	6,209	413	7.1%
医薬品添加剤	3,251	3,399	148	4.5%
食品品質保持剤	2,204	2,609	405	18.3%
健康食品	340	200	△139	△41.0%
(輸出)	(326)	(339)	(13)	(4.0%)
営業利益	884	976	91	10.3%

化成品部門：四半期推移（分野別業績）

【売上高】

(百万円)
2,000

【営業利益率】



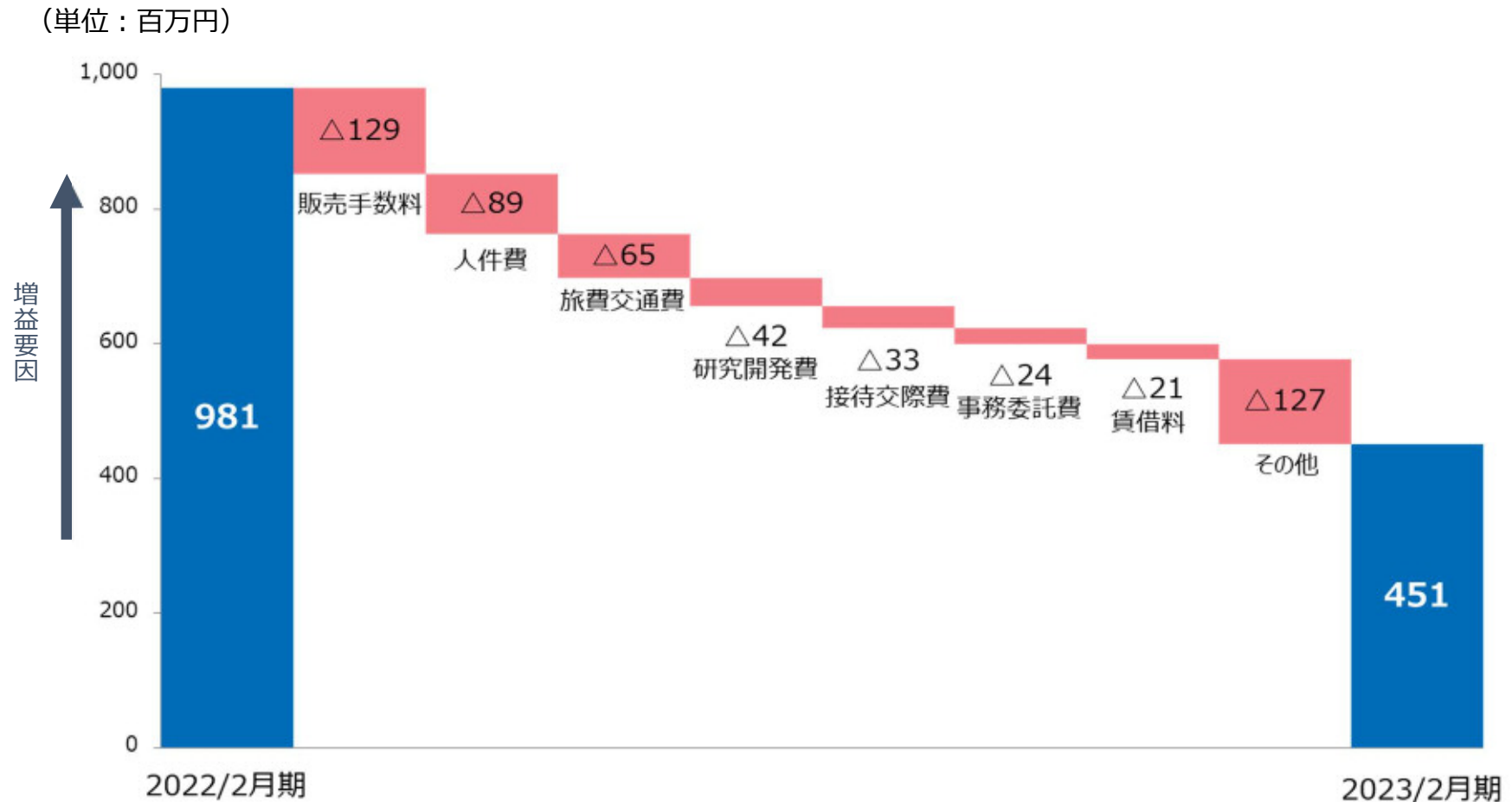
連結損益計算書サマリー

- 国内外とも原材料価格高騰に伴い原価率上昇、粗利率は低下
- 販管費は大きく増加するも、円安進行による円貨換算額増加が最大の要因
- 営業外収益として為替差益を大きく計上するも、特別損失としてのれん等の減損損失計上

(単位：百万円)	2022/2月期		2023/2月期		前年比増減	
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	金額	%
売上高	17,632	100.0	19,658	100.0	2,026	11.5%
売上原価	11,620	65.9	13,665	69.5	2,044	17.6%
売上総利益	6,011	34.1	5,993	30.5	△ 18	△0.3%
販管費	5,030	28.5	5,541	28.2	511	10.2%
営業利益	981	5.6	451	2.3	△ 530	△54.0%
営業外損益	50	0.3	107	0.5	56	114.0%
経常利益	1,032	5.9	559	2.8	△ 473	△45.8%
特別損益	△ 204	△ 1.2	△ 965	△ 4.9	△ 761	—
税引前利益	828	4.7	△ 406	△ 2.1	△ 1,234	—
親会社株主当期純利益	543	3.1	△ 538	△ 2.7	△ 1,081	—

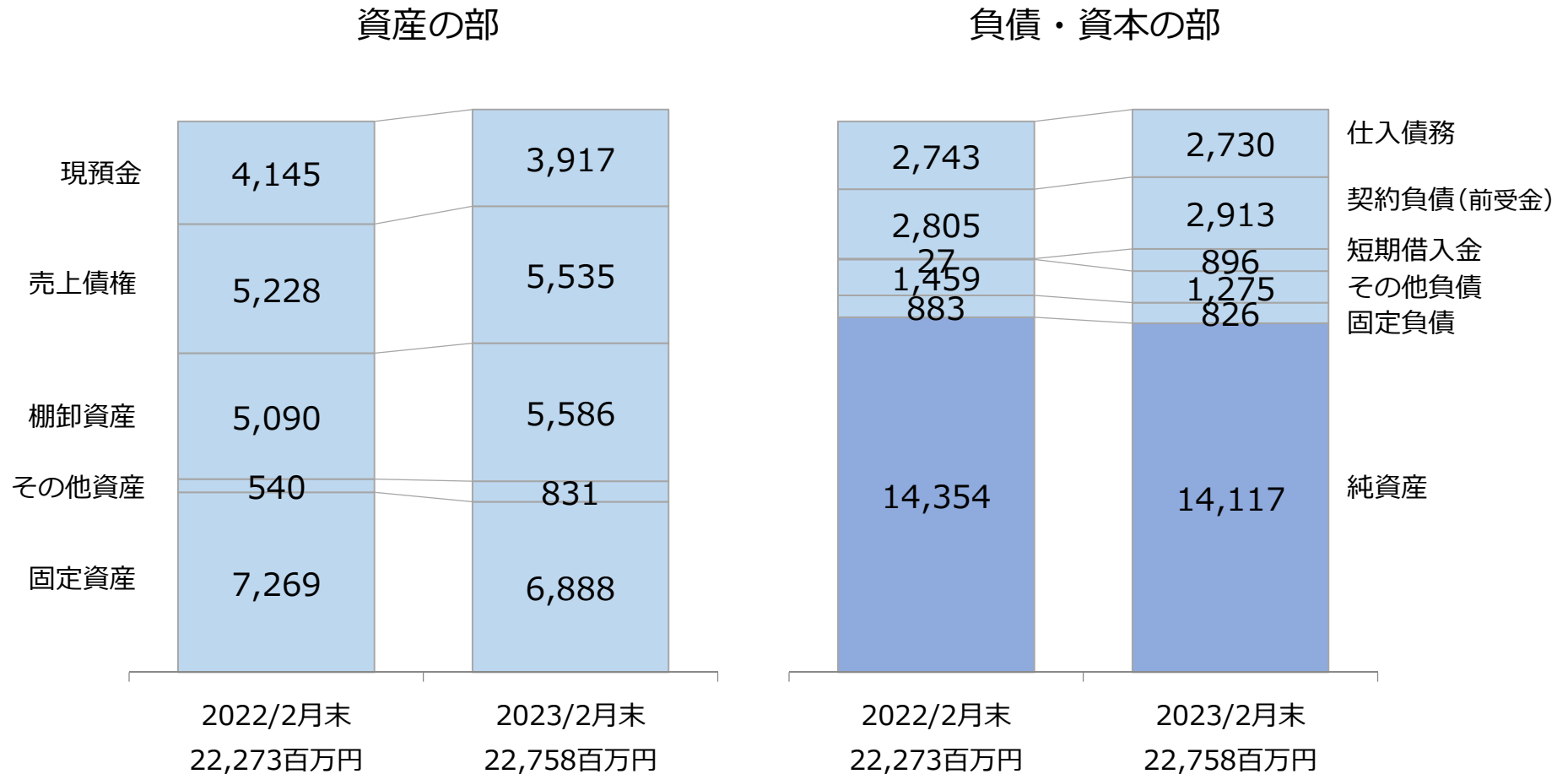
連結営業利益増減分析

販売管理費は前年同期比+511百万円、円安進行に伴う円貨換算額の増加に加え、海外子会社の売上増に伴う販売手数料の増加や人件費増が主因



連結貸借対照表サマリー

- 米国子会社において売掛金、仕掛品増加とともに、短期借入金が増加
- のれん、無形資産等の減損損失計上により固定資産は減少
- 純資産は減少するも、自己資本比率は引続き高水準を維持（62.0%）



連結キャッシュフロー計算書サマリー

(単位：百万円)	2022/2月期	2023/2月期
営業キャッシュフロー	701	△ 196
税引前利益	828	△406
減価償却費	570	565
減損損失	75	933
売上債権の増減額（△は増加）	△ 299	△171
棚卸資産の増減額（△は増加）	△ 1,430	△ 54
仕入債務の増減額（△は減少）	△ 154	△ 78
法人税等の支払額	△ 394	△ 412
投資キャッシュフロー	△ 680	△ 666
有形固定資産の取得による支出	△ 460	△ 269
無形固定資産の取得による支出	△ 236	△ 330
財務キャッシュフロー	△ 427	451
短期借入金	△ 30	852
配当金の支払額	△ 335	△ 333
現金及び現金同等物 増減額	△ 353	△ 228
現金及び現金同等物 期末残高	4,145	3,917
フリー・キャッシュフロー	21	△ 862

第8次中期経営計画の振り返り

2021年2月期～2023年2月期



第8次中期経営計画の概要

企業理念

創造力で未来を拓く

経営ビジョン

フロイントグループは、
「世界中の人々の医療と健康の未来に貢献し、
豊かな生活・食の安全・安心を支える技術を生み出し、育成していくことを目指します」

大切にする価値

ONE
FREUND

Number
One

特別な価値創造

それぞれの分野、事業で
No.1を目指す

Only
One

完全顧客視点

顧客、社会にとって
Only Oneの存在を目指す

Be
One

ネットワーキング

グループがひとつになる

基本戦略

顧客の真のニーズに技術力をもって応え、
持続的に利益成長する経営構造の実現を目指す

7つの経営目標

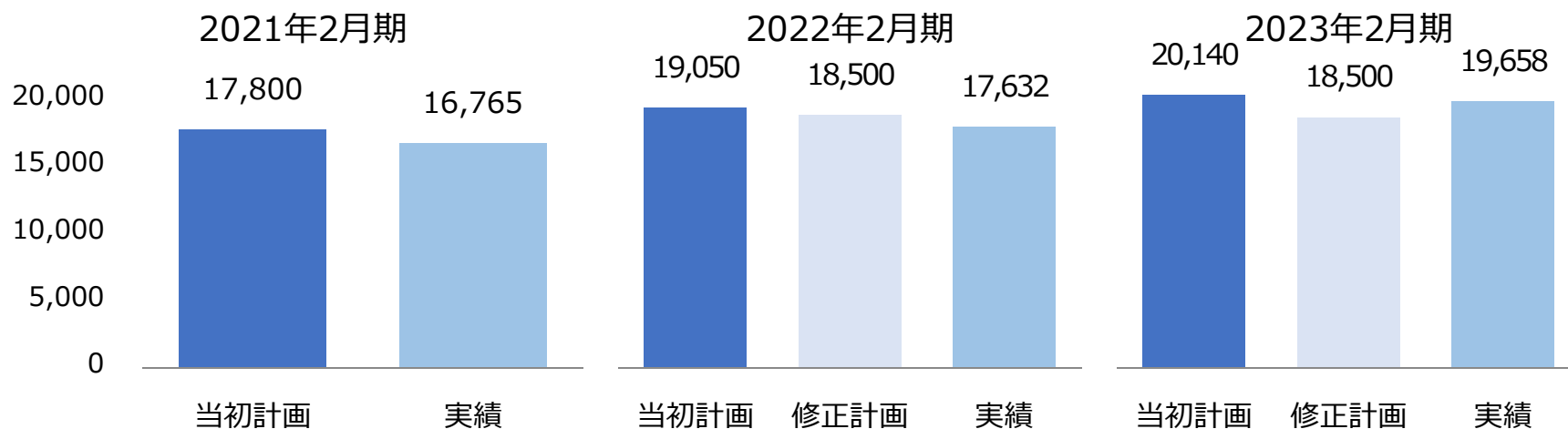
1. グループの連携
2. 完全顧客視点
3. イノベーション重視
4. グローバル経営
5. 成長戦略の実行
6. 業務改革と働き方改革の推進
7. コンプライアンス・コーポレートガバナンスの重視

第8次中期経営計画のレビュー

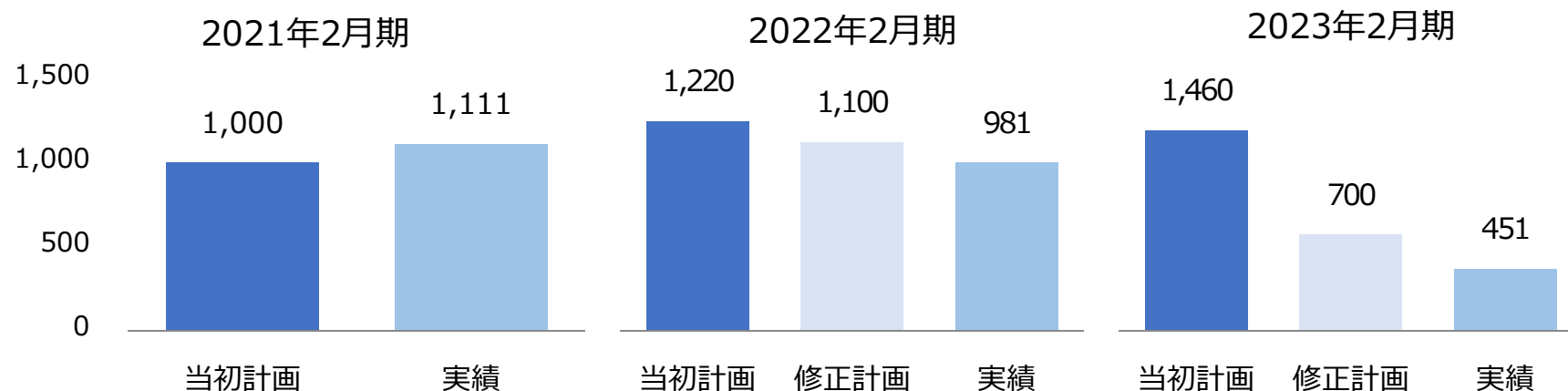
初年度のみ利益目標は達成するも、以降計画修正を余儀なくされる

売上高

(単位：百万円)



営業利益



第8次中期経営計画の総括と第9次中期経営計画に向けて

第8次中期経営計画の総括

- 機械部門は、国内市場の需要を着実に取り込み、過去最高の受注残を記録
化成部門は、医薬品添加剤並びに食品品質保持剤とも売上は過去最高実績
- 成長戦略の礎となるグローバル5極体制を構築中、今後シナジーを追求、実現
- 一方、新型コロナウイルス感染症の拡大やロシアによるウクライナ侵攻といった外部環境の悪化を受け、国内外ともリードタイムの長期化や収益性低下に悩まされ、特に海外子会社が苦戦

第9次中期経営計画に向けて

2024年2月期を初年度とする新たな中期経営計画（第9次中期経営計画）を策定、公表予定にあったが、以下の要因により当社を取り巻く経営環境は依然不透明

- ウクライナ情勢の長期化
- これらに端を発した原材料やエネルギー価格の高騰、供給面の制約継続

- 2024年2月期は単年度計画とする
- 第9次中期経営計画は2025年2月期を初年度とし、来年度初目処に公表予定

2024年2月期
連結業績・配当予想



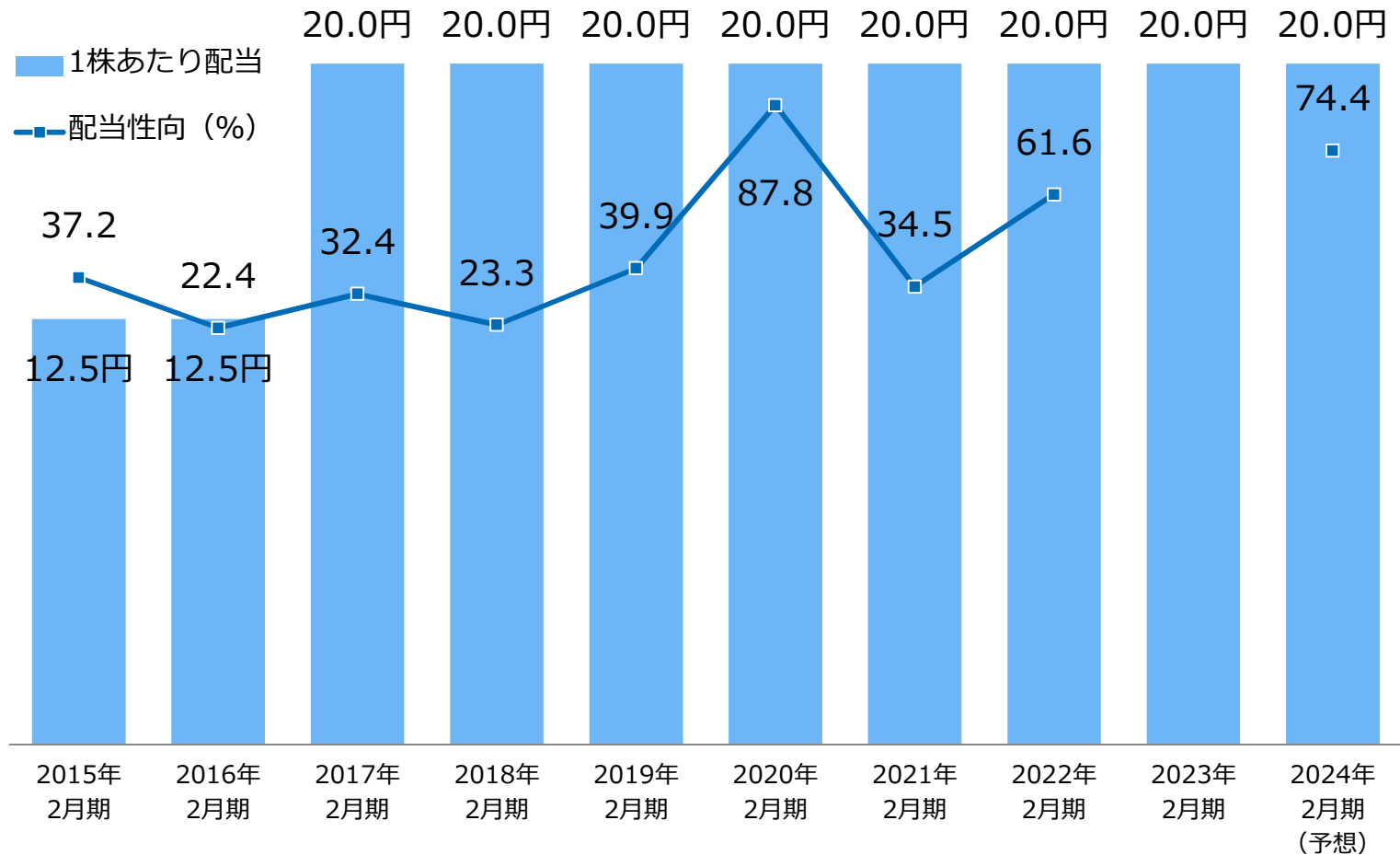
連結業績予想サマリー

2024年2月期は、原材料価格の高騰や部材調達逼迫によるリードタイムの長期化は、一部回復の兆しはあるものの、依然予断を許さぬ状況と想定の上、予想

(単位：百万円)	2023/2月期	2024/2月期	前年比増減	
	実績	予想		%
売上高	19,658	20,000	+342	+1.7%
営業利益	451	700	+249	+55.0%
経常利益	559	650	+91	+16.3%
親会社株主に帰属 する当期純利益	▲538	450	+988	-
一株純利益（円）	▲32.15	26.87	+59.02	-
為替（円/ドル +は円高）	134.12	130.00	+4.12	-

配当予想サマリー

- 2023年2月期は長期的に安定した配当を維持していくことを基本方針とする中、昨年と同額の1株あたり20円を維持
- 2024年2月期も同額の1株あたり20円を予想



(注) 2023年2月期の連結配当性向については、親会社株主に帰属する当期純損失を計上しているため記載しておりません。
2016年3月1日付けで株式分割1対2を実施しており、2016年2月期以前の配当金は分割調整後の金額です。

【トピックス】「健康経営優良法人2023」に認定

2023年3月8日付で経済産業省・日本健康会議が主催する

「健康経営優良法人※2023（中小規模法人部門）」に初めて認定

フロイント産業健康経営方針・健康経営宣言

「従業員の健康保持や増進を図り、合わせて会社の企業価値を高め業績を向上へ繋げることを」を目的とし、活動を進めてまいりました。

引き続き「健康経営」を実践し、従業員がいきいきと働ける環境づくり、取組みを推進してまいります。

【取組例】

- (1) 特定保健指導の実施
- (2) 健康診断や再検査の推奨
- (3) 血圧計の設置（各拠点）
- (4) 社内SNSで健康に関する（食、運動、禁煙）情報提供
- (5) ウォーキング大会参加案内（健保主催）
- (6) デンタルケア動画の提供



※ 健康経営優良法人認定制度とは、地域の健康課題に即した取組や社員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に実践する「健康経営」への取組が優良である企業を顕彰する制度

(参考資料)

- ・ プロフィール
- ・ セグメント情報

プロフィール

●社名	: フロイント産業株式会社
●設立	: 1964年4月
●代表者	: 代表取締役社長 伏島 巖
●所在地	: 東京都新宿区西新宿六丁目25番13号
●資本金	: 10億3,560万円 (2023年2月末現在)
●売上高	: 196億円 (2023年2月期: 連結)
●従業員	: 482名 (2023年2月末現在: 連結)
●事業内容	: 機械事業 … 造粒・コーティング装置等の製造販売 化成品事業 … 医薬品添加剤、食品品質保持剤等の製造販売
●グループ会社	: Freund-Vector Corporation フロイント・ターボ株式会社 Cos.Mec s.r.l. Parle Freund Machinery Private Limited Freund-Chineway Pharmaceutical Technology Center Co.,Ltd.

独創的技術でのグローバル化を積極的に推進



ビジネスモデルの特徴は「Pen」と「Ink」

1. 機械部門



Pen

- 医薬品、食品、ファインケミカルなどのさまざまな分野向けに造粒、コーティング装置などを製造・販売
- コーティング装置の国内販売シェアはトップ
アジア市場に加え、米国子会社の欧・米展開も加速
世界で製剤技術と機械装置を唯一共有する
- 造粒・コーティング技術に粉碎・分級技術を融合させることで産業向け装置の拡販も注力

2. 化成品部門



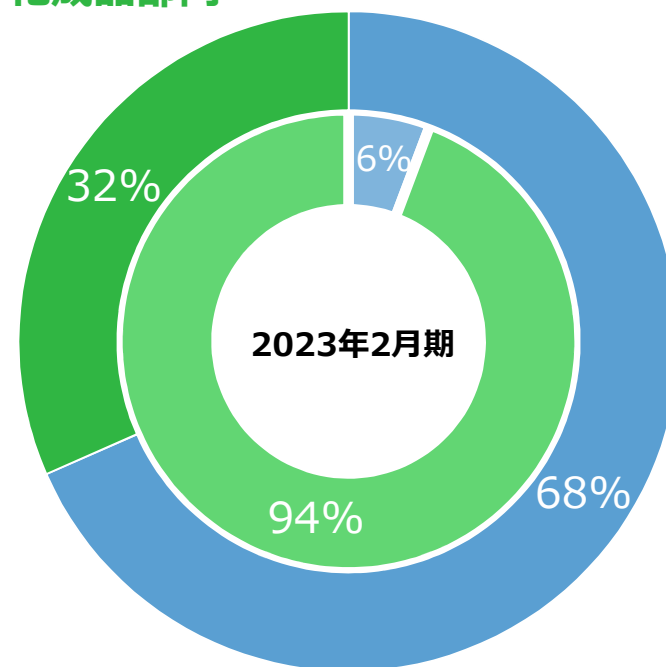
Ink

- 医薬品添加剤、食品品質保持剤、栄養補助食品などを製造・販売
- 医薬品添加剤は、GMP※1対応設備で生産
- 食品品質保持剤は、さまざまな食品の品質保持に利用され、安全な食生活に役立つ
- 造粒・コーティング技術を用い、ユーザーとの共同開発で栄養補助食品やシームレスミニカプセルを商品化

※1 GMP : Good Manufacturing Practice

セグメント別 売上高及び利益構成

化成品部門



機械部門

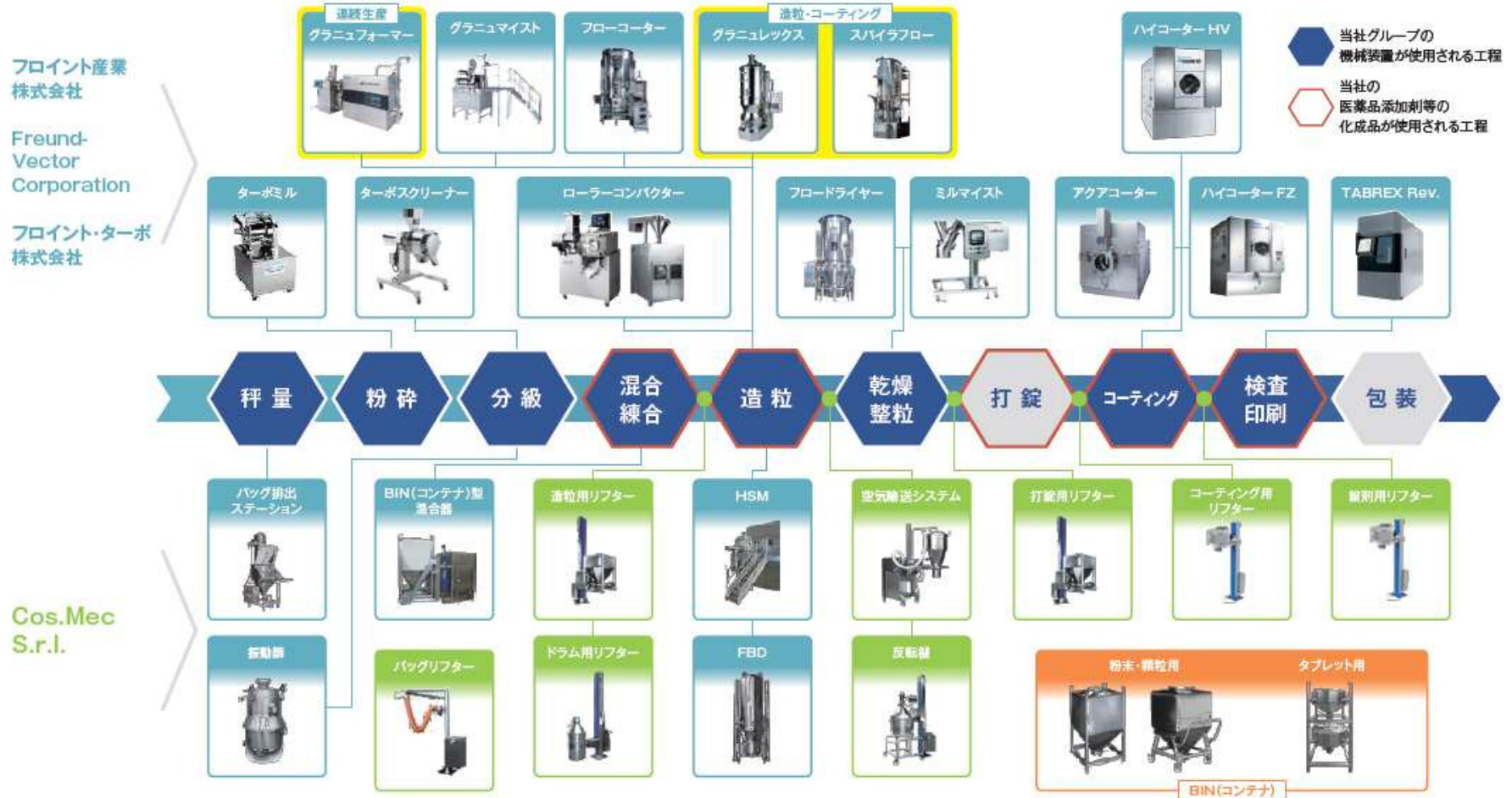
連結売上高 196.5億円

連結営業利益 4.5億円

グループのビジネスフィールド

- 医薬品の製造工程に基づくフロイントグループの事業領域

フロイントグループのビジネスフィールド



フロントグループ ディスクロージャーポリシー

1. 情報開示の基本方針

当社は、広く社会に信頼される企業として、経営の透明性向上を重要な責務のひとつと考えています。その考えに基づき、すべてのステークホルダーの皆さまに、会社情報の公平かつ適時適正な開示を継続的にを行います。

2. 情報開示の基準

当社は、会社法、金融商品取引法などの関係法令および当社が上場する証券取引所が定める適時開示に関する諸規則にしたがって、情報開示を行います。

当社は、関係法令および適時開示に関する諸規則に該当しない情報であっても、株主・投資家の皆さまの投資判断にとって必要であると考えられる情報については、積極的に開示いたします。

3. 情報開示の方法

当社は、東京証券取引所の提供する適時開示情報伝達システム（Timely Disclosure network、以下「TDnet」という）を通じて情報を開示いたします。TDnetにより開示した情報は、情報開示の適時性・公平性に配慮し、速やかに当社のインターネットホームページに掲載いたします。

そのほかの情報についても、適時開示の趣旨に則り、プレスリリース、当社のインターネットホームページへの掲載などにより公平かつ迅速に開示いたします。より多くのステークホルダーの皆さまに分かりやすい開示を行うため、開示情報は日本語とあわせ、その英訳の開示に努めます。

4. インサイダー取引の未然防止

当社は、内部情報の適切な管理および株式などの売買などについて遵守すべき基本事項を社内規則に定め、インサイダー取引規制の周知徹底と株式などの売買管理体制の適切な運用により、インサイダー取引を未然に防止します。

5. 沈黙期間

当社は、決算情報の漏洩を防止し、法令遵守および公平性を確保するため、各四半期決算期日の翌日から当該決算発表日までを「沈黙期間」と定めます。当該期間中は、決算に関連するコメントや質問・照会に対する回答は差し控えさせていただきます。ただし、業績が予想と大きく乖離する可能性がある場合には、適時開示に関する諸規則に従い適時適正に開示いたします。

6. 将来予測について

当社が開示する情報の中には、業績予想以外にも戦略、事業計画などの将来予測に関する情報が含まれておりますが、これらの情報は作成段階において入手可能な情報をもとに判断したものであり、その後の経済情勢や市場環境の変化などによって、将来予測は大きく異なる可能性があります。

(2017年3月27日制定)

I R活動の方針

株主・投資家との建設的な対話に関する方針

当社は、会社の持続的な成長と中長期的な企業価値の向上をめざし、株主・投資家の皆様との建設的な対話を積極的に進めます。当社の経営方針や経営状況、企業文化をわかりやすく説明し、株主・投資家の皆様のご理解を得て、「FREUNDファン」として継続的にご支援いただけるように努めます。

1. 推進体制株主・投資家の皆様との対話

取締役CFOが統括し、IR担当部署の管理本部経理部が担います。

株主の皆様との対話を促進するため、社内の関連部門は、開示資料の作成・審査や必要な情報の共有など、積極的に連携を図り、公正且つ迅速に情報開示を行います。

2. ステークホルダーとの対話

当社は期末及び第2四半期の決算説明会（第1・3四半期はスモールミーティング）を実施し、その情報は当社ウェブサイト公開します。また、中長期経営計画を策定した際には、経営戦略や経営計画についてわかりやすく説明いたします。さらに、機関投資家への訪問も積極的に実施し、経営方針や業績の説明を行います。また、証券会社主催の投資家フォーラムや個人投資家説明会等にも参加します。

株主通信やFREUND Report（統合報告書）の発行、ウェブサイト専用ページ（<https://www.freund.co.jp/ir/>）の開設などにより、事業や財務情報とともに財務諸表に載らない資産（見えない資産）を紹介することで当社グループの企業価値を正しくご理解いただけるように、情報開示の充実に努めます。

3. 株主・投資家からの意見を社内へフィードバックする仕組み

株主・投資家の皆様との対話において把握された意見は、社長、取締役や関係各部に適宜報告し、情報を共有します。

4. インサイダー情報の管理

各四半期の決算期末日より決算発表日までの期間はサイレント（沈黙）期間とし、投資家の皆様との対話を制限しています。インサイダー情報については、社内の内部情報管理・内部者取引規制に関する規程に従い、情報管理の徹底を図っています。

〈お問い合わせ先〉
フロイント産業株式会社
管理本部 経理部

TEL:03-6890-0747

FAX:03-6890-0870

E-Mail : ir@freund.co.jp

当社IRサイトもご覧ください。 <https://www.freund.co.jp>

本資料には当社の計画、見通し、経営戦略および経営方針に基づいた「将来予測に関する記載」が含まれております。この「将来予測に関する記載」には発表日時点までに入手可能な情報に基づいた経営判断や前提が述べられております。そのため諸与件の変化により、実際の業績は「将来予測に関する記載」とは異なる結果となる可能性があります。従って本資料における業績予想などの「将来予測に関する記載」が将来に亘って正確であることを保証するものではないことを、ご了解いただきますようお願い致します。なお、掲載内容について当社はあらゆる面から細心の注意を払っておりますが、それらには誤りやタイプミス等が含まれる可能性があります。